

トヨタ純正

ロックレール

取付要領書

このたびは、トヨタ純正ロックレールをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、ロックレールの取り付け要領について記載してあります。

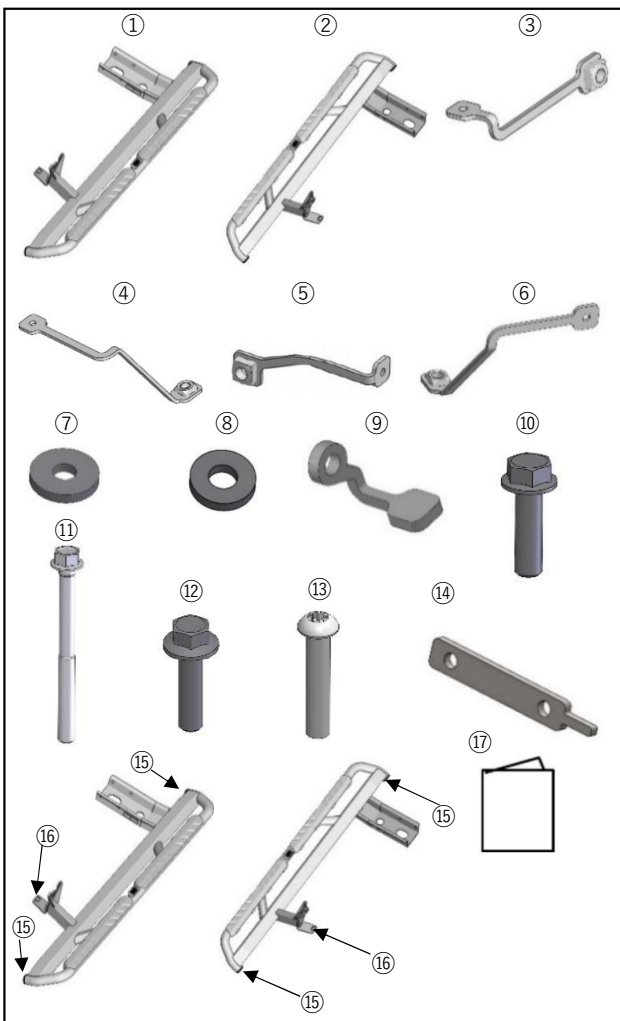
取り付け前に必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

※本取り付けは一時的に2人作業となります。

品番

PC388-60002

構成部品



No.	品名	個数
①	ロックレールRH	1
②	ロックレールLH	1
③	スティックナット LH(M10)	1
④	スティックナット LWR LH(M8)	1
⑤	スティックナット RH(M10)	1
⑥	スティックナット LWR RH(M8)	1
⑦	平ワッシャー(M8×φ26×4mm)	4
⑧	平ワッシャー(M10×φ25×4mm)	2
⑨	PKBスペーサー	1
⑩	ボルト(M10×35mm)	2
⑪	ボルト(M12×135mm)	4
⑫	ボルト(M8×30mm)	2
⑬	トルクスボルト(M8×40mm)	2
⑭	タブ付きスペーサー	4
⑮	キャップ※1	4
⑯	スペーサー※1	4
⑰	取付要領書(英語)※2	1

※1キャップとスペーサーは①、②に取り付いた状態になります。

※2同梱の取付要領書(英語)は使用しませんので、破棄して取付要領書(国内版)をWebよりダウンロードしてください。

補給部品

品番	品名	個数
PC388-60003	⑪ ボルト(M12×135mm)	4
	⑭ タブ付きスペーサー	4
PC388-60004	⑤ スティックナット RH(M10)	1
	⑥ スティックナット LWR RH(M8)	1
	⑦ 平ワッシャー(M8×φ26×4mm)	2
	⑧ 平ワッシャー(M10×φ25×4mm)	1
	⑩ ボルト(M10×35mm)	1
	⑫ ボルト(M8×30mm)	1
	⑬ トルクスボルト(M8×40mm)	1
⑯ スペーサー	1	
PC388-60005	③ スティックナット LH(M10)	1
	④ スティックナット LWR LH(M8)	1
	⑦ 平ワッシャー(M8×φ26×4mm)	2
	⑧ 平ワッシャー(M10×φ25×4mm)	1
	⑨ PKBスペーサー	1
	⑩ ボルト(M10×35mm)	1
	⑫ ボルト(M8×30mm)	1
	⑬ トルクスボルト(M8×40mm)	1
⑯ スペーサー	1	
PC388-60006	① ロックレールRH	1
PC388-60007	② ロックレールLH	1
PC388-60008	⑮ キャップ	4

取り付けに必要な工具等

ダルマジッキ、ラチェット、ソケット(10mm～17mm)、ソケット/スパナ(10mm)、リングスパナ(17mm)
トルクレンチ、E型トルクス付きボックスエンドロングレンチ(参考：KTC製WEE8×10Lなど)、タコ糸

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

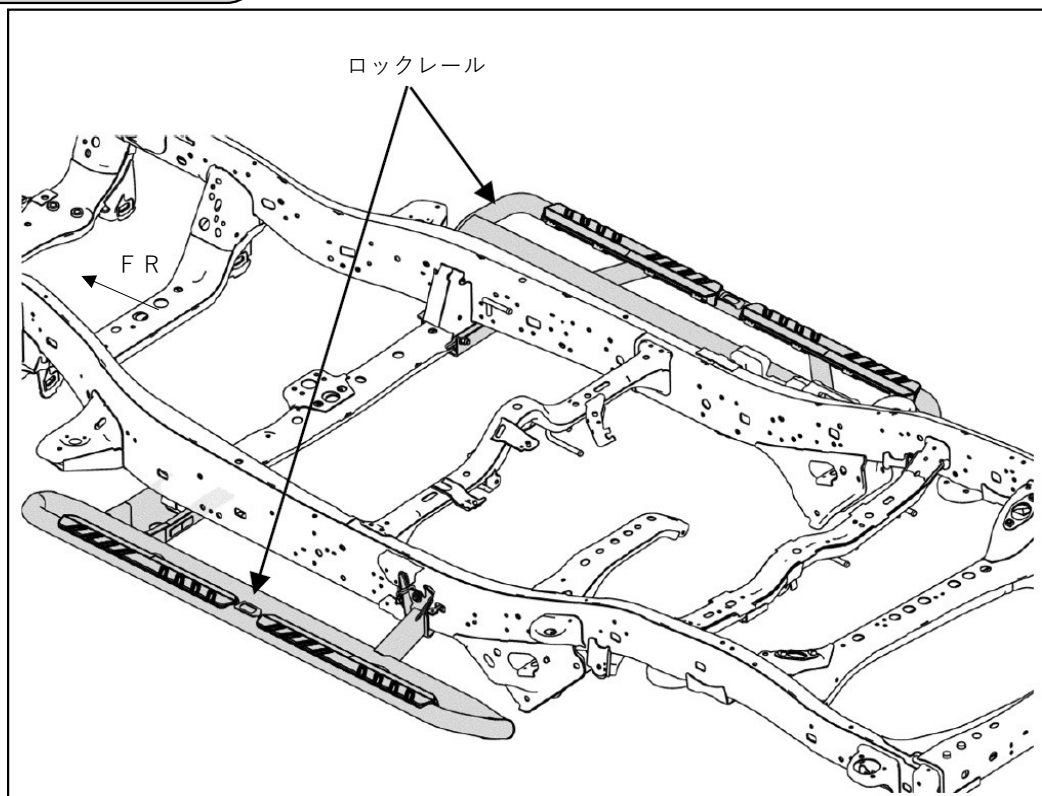
▲ 注意 ... 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等のおそれがあることを記載しています。

注意 ... 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等のおそれがあることを記載しています。

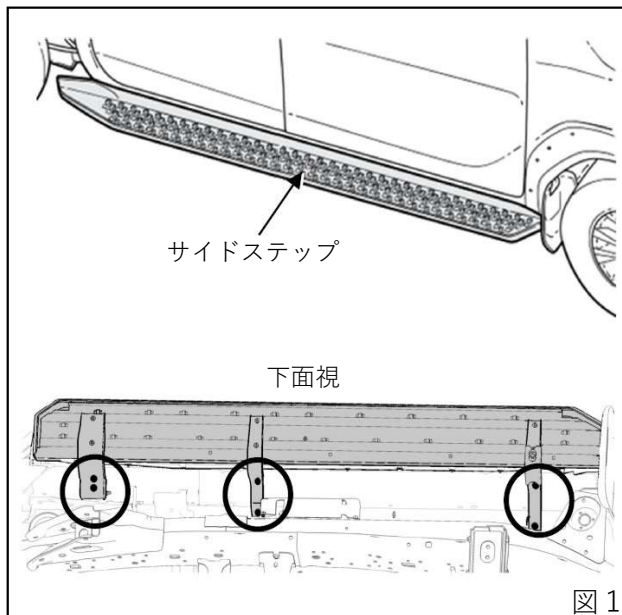
👉 アドバイス ... スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 部品を取り付ける前に、必ず保護具を使用して車両部品を保護してください。
- (2) 取り付け前に取付要領書/取扱説明書をよく読み、常に指示に従ってください。
- (3) 用品が正しく取り付けられていないと緩み、はずれにより事故につながったり、ケガをしたりするおそれがあります。
- (4) ボデーを傷付けないよう注意してください。
- (5) 特別な指定が無い限り、ボルト/スクリューは指定のトルクで締めてください。
- (6) 本製品は訓練を受けた技術者による取り付けを推奨します。
- (7) 取付中、取付後にすべての部品の作動や隙関係が問題無いか確認してください。
- (8) 車両部品の取りはずし/交換の際には、必ずサービスマニュアルを参照してください。

取り付け概要



取り付け前の準備



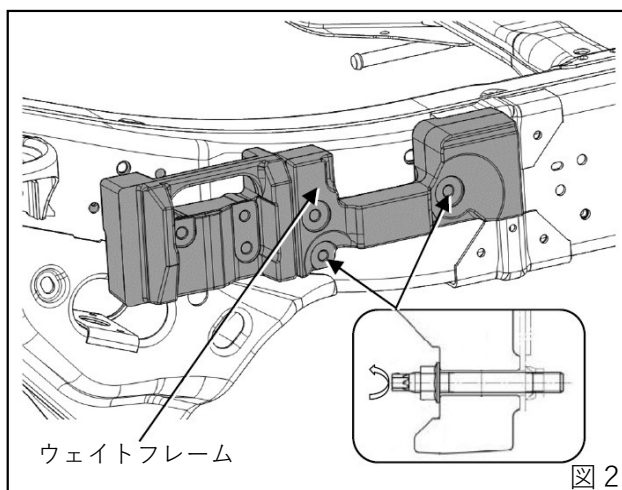
サイドステップ取りはずし

本図はRH側を示していますが、LH側も同様に作業してください。

1. 図1に従い、ソケットレンチ(10mm)を用いてサイドステップからM8ボルト6本を取りはずし、車両からサイドステップを取りはずす。

👉 アドバイス

- ・取りはずしたボルトとサイドステップは再使用しません。



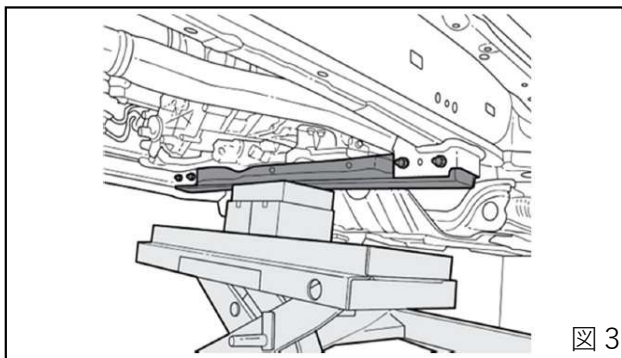
ウェイトフレームの取りはずし(RHのみ)

2. 図2に従い、E型トルクス付きボックスエンドロングレンチを用いてスタッドボルトを取りはずし、車両からウェイトフレームを取りはずす。(右側のみ)

👉 アドバイス

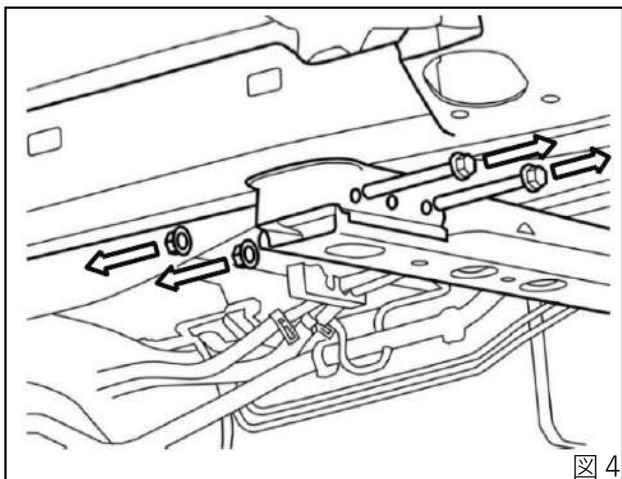
- ・取りはずしたボルトとウェイトフレームは再使用しません。

ロックレール取り付け



ロックレール(RH)取り付け手順

1. ダルマジャッキを使用してギアボックスクロスメンバーを支持する。



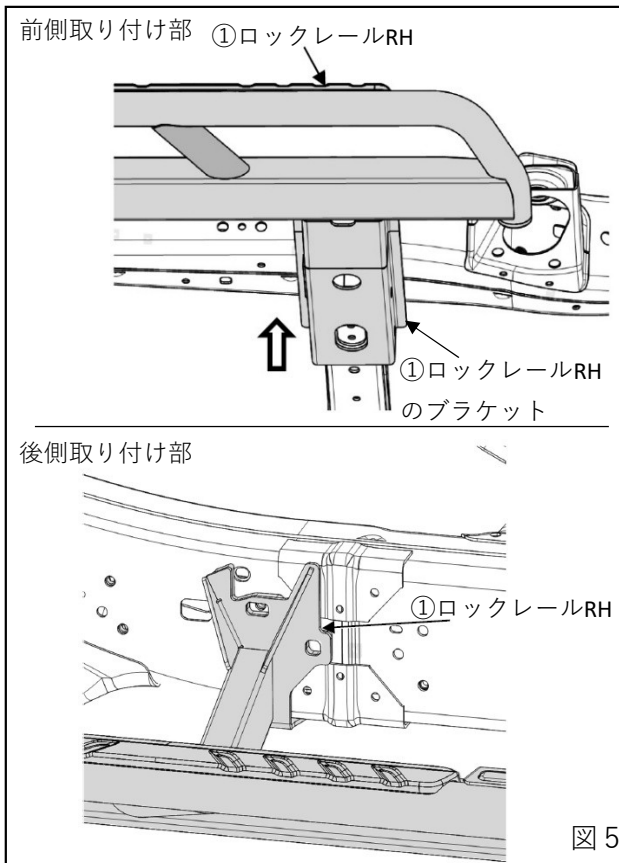
2. 図4に従い、ソケットレンチとリングスパナを用いてギアボックスクロスメンバーからナット(M12)2個とボルト2本を取りはずす。

注意

- ・取りはずしたナットは後で再使用するため紛失しないよう安全な場所に保管してください。

アドバイス

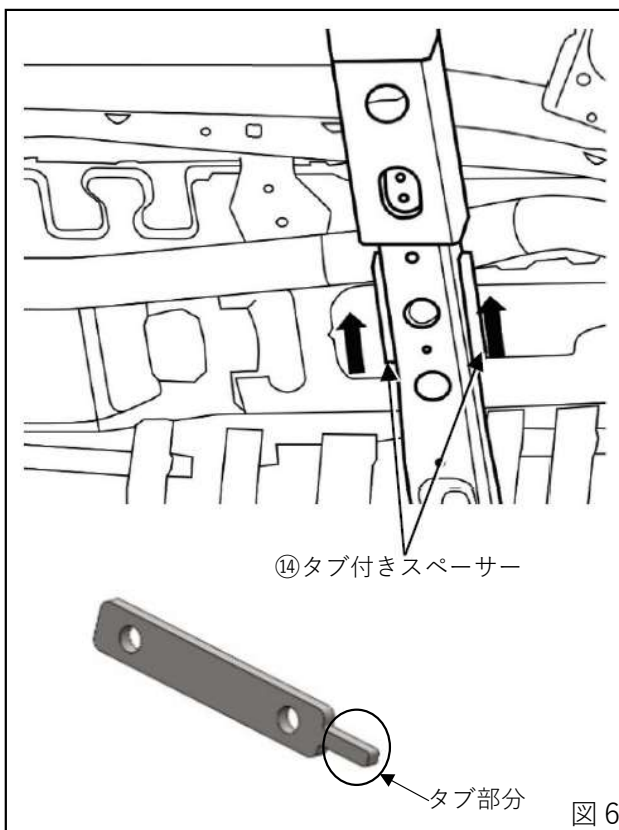
- ・取りはずしたボルトは再使用しません。



3. 図5のように、①ロックレールRHを持ち上げ、ロックレールの後部がクロスメンバーを支えている事を確認する。
4. ①ロックレールRHのブラケットを、前頁の2でボルト・ナットを取りはずした位置に合わせる。

注意

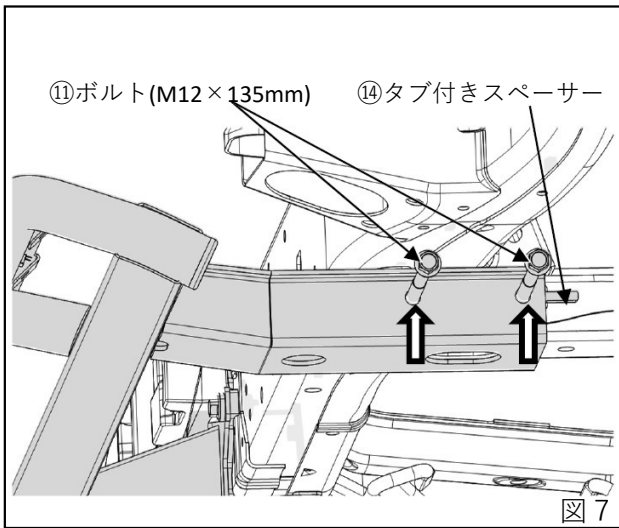
・2人で作業をしてください。



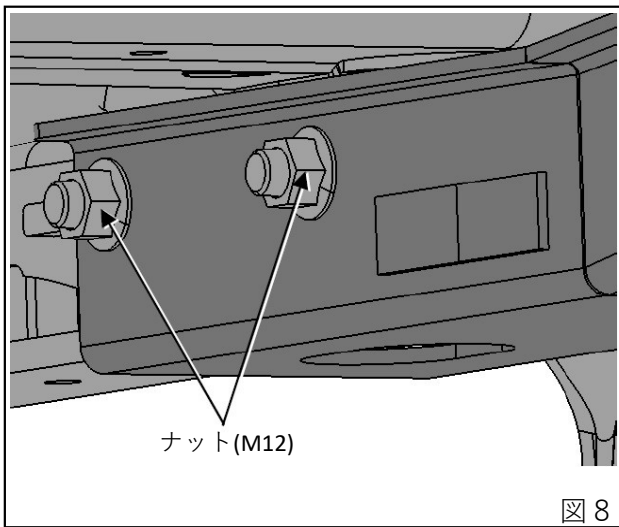
5. ①ロックレールRHのブラケットとクロスメンバーの間に、⑭タブ付きスペーサーを挿入する。
6. 挿入した⑭タブ付きスペーサーとブラケットの穴位置が同じである事を確認する。

アドバイス

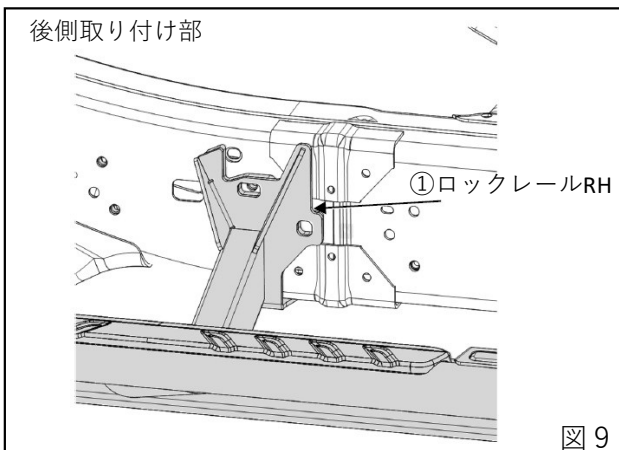
・タブ付きスペーサーはロックレールの位置合わせ、角度調整を実施すると挿入しやすくなります。



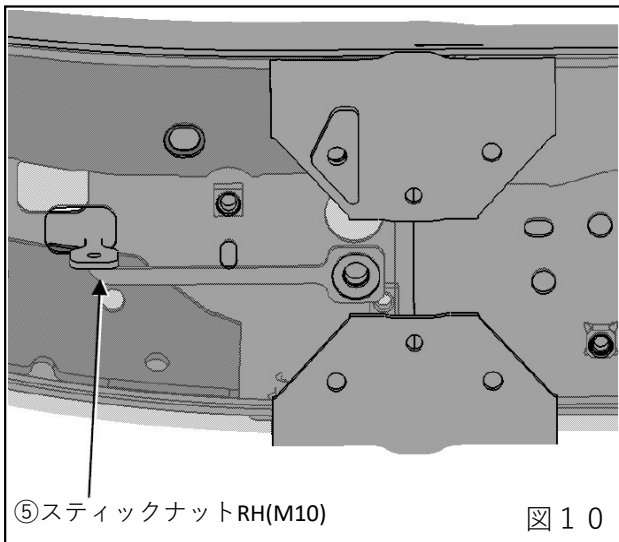
7. ①ロックレールRHのブラケットと、⑭タブ付きスペーサーと、クロスメンバーの穴位置が合っている事を確認し、
⑪ボルト(M12×135mm)2本を差し込む。



8. 2.で取りはずしたナット(M12)を用いて⑫ボルト(M12×135mm)を固定する。
9. トルクレンチでナット(M12)を仮締めする。



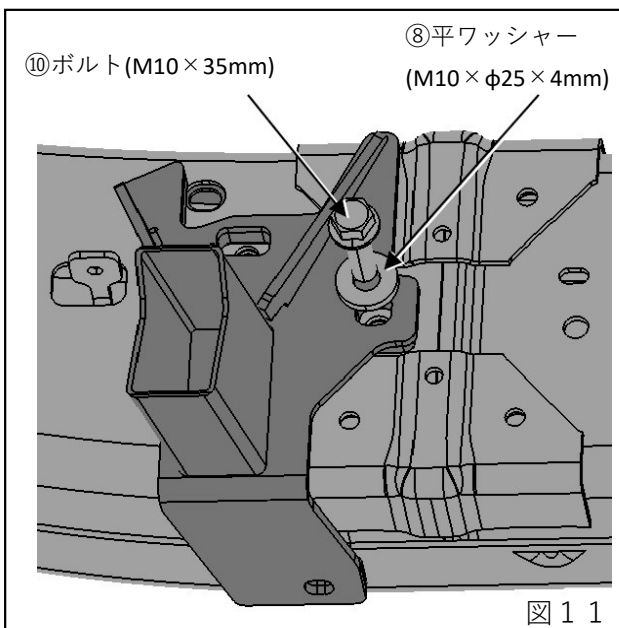
10. ①ロックレールRH最後端がクロスメンバーを支持している事を確認する。



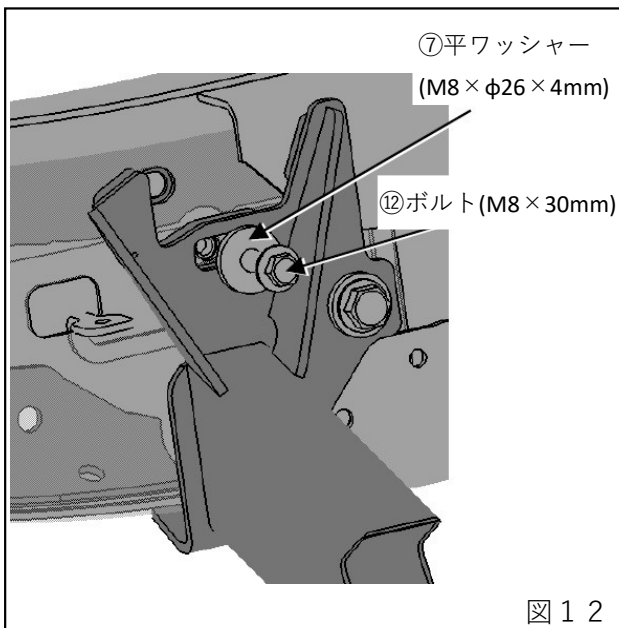
11. ⑤ステックナット RH(M10)を図10のように、シャシーの長孔に挿入する。
 スティックナットの落下防止処置としてタコ糸をスティックナットの持ち手に通し、輪を作って保持した状態で作業する。

アドバイス

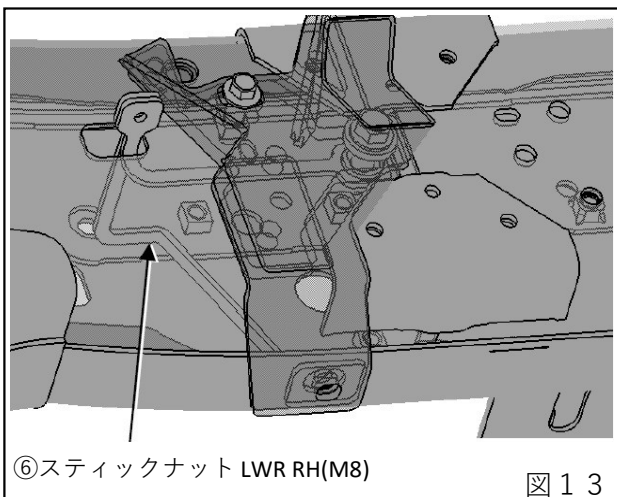
- ・ウェルドナットASSYの配置位置を明確にするため、図10はロックレールRHを非表示にしています。



12. 図11に示す箇所に⑩ボルト(M10×35mm)と⑧平ワッシャー(M10×φ25×4mm)を挿入する。
 13. 14mmソケットレンチを用いて、⑩ボルト(M10×35mm)を仮締めする。



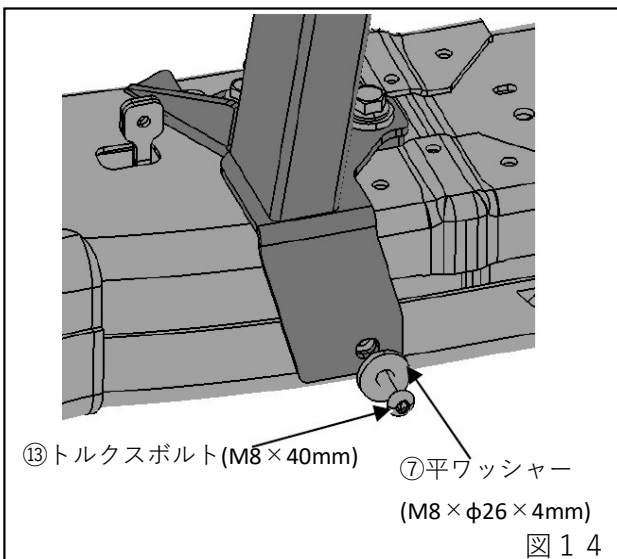
14. 図12の箇所に⑫ボルト(M8×30mm)と⑦平ワッシャー(M8×φ26×4mm)を挿入する。
 15. 12mmソケットレンチを用いて、⑫ボルト(M8×30mm)を仮締めする。



⑥スティックナット LWR RH(M8)

図 13

16. ⑥スティックナット LWR RH(M8)を図13のように、シャシーの長孔に、11.で挿入した⑤スティックナット RH(M10)の上に重なるように挿入する。

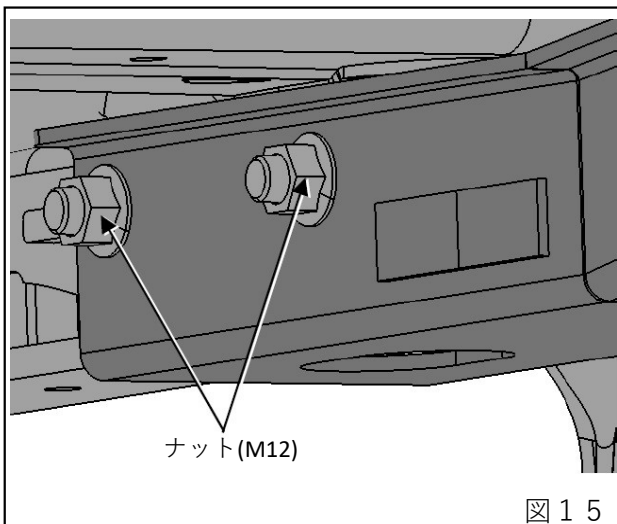


⑬トルクスボルト (M8×40mm)

⑦平ワッシャー
(M8×φ26×4mm)

図 14

17. 図14に示す箇所に⑬トルクスボルト(M8×40mm)と⑦平ワッシャー(M8×φ26×4mm)を挿入する。
18. トルクス(T40)を用いて、⑬トルクスボルト(M8×40mm)を仮締めする。

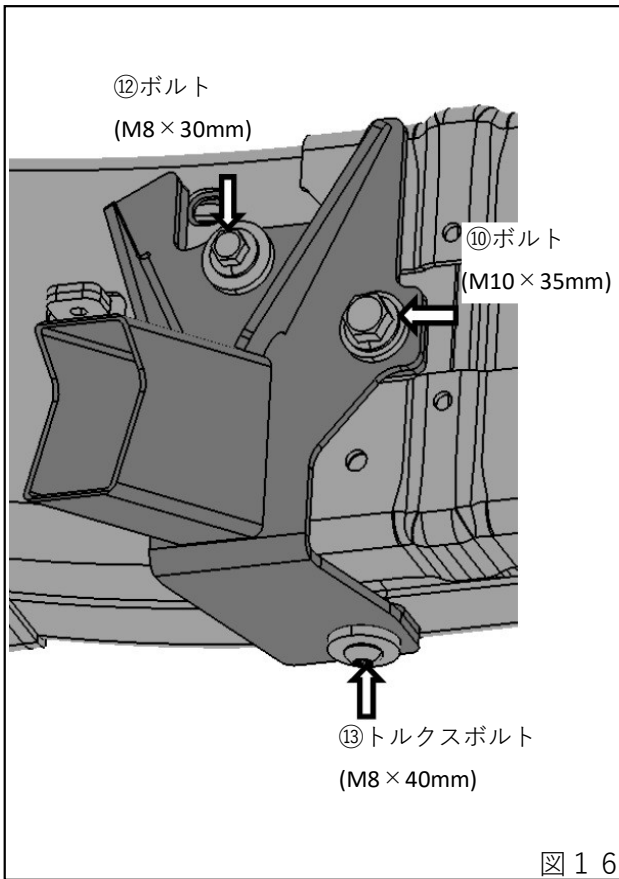


ナット (M12)

図 15

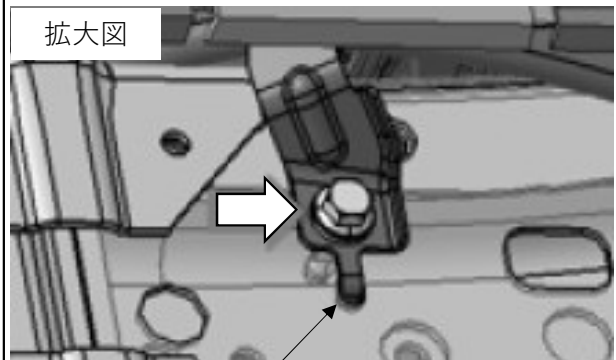
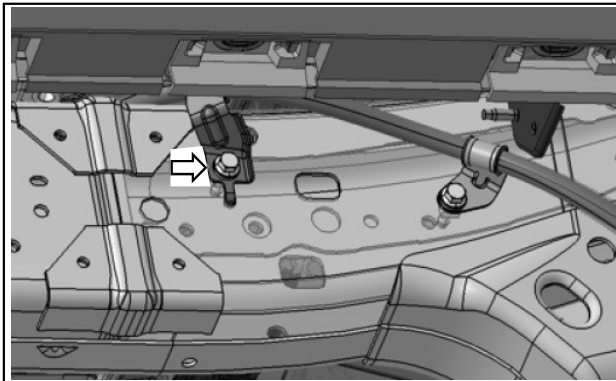
19. ①ロックレールRHが一直線になっている事を確認し、9.で仮締めしたナットを指定の締結トルクで締め付ける。

締め付けトルク 72.0 N・m



20. 19.と同様に、図16で示す3箇所をそれぞれ記載の指定の締結トルクで締め付ける。

⑩ボルト(M10×35mm)	締め付けトルク 40.0 N・m
⑫ボルト(M8×30mm)	締め付けトルク 38.0 N・m
⑬トルクスボルト(M8×40mm)	締め付けトルク 38.0 N・m



パーキングブレーキラインブラケットの位置決めツメ

図 17

ロックレール(LH)取り付け手順

1. ①ロックレール(RH)取り付け手順の1~2を左側で繰り返します。
2. 図17に示すパーキングブレーキラインブラケットからM8ボルトとワッシャーを取りはずす。

アドバイス

・取りはずしたボルトとワッシャーは再使用しません。

3. ボルトとワッシャーを取りはずしたパーキングブレーキラインブラケットの位置決めツメが、シャシーの長方形位置決め孔に挿入されている事を確認する。

4. ロックレール(RH)取り付け手順の3~9を左側で繰り返します。

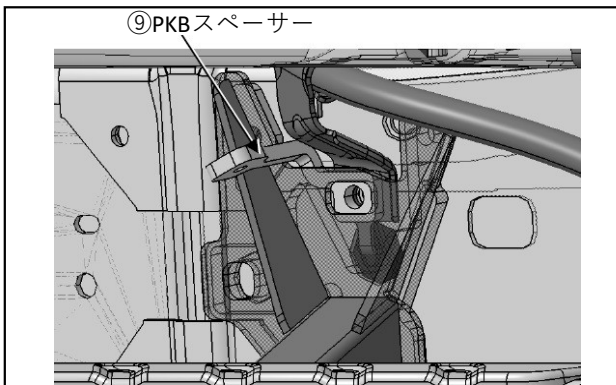
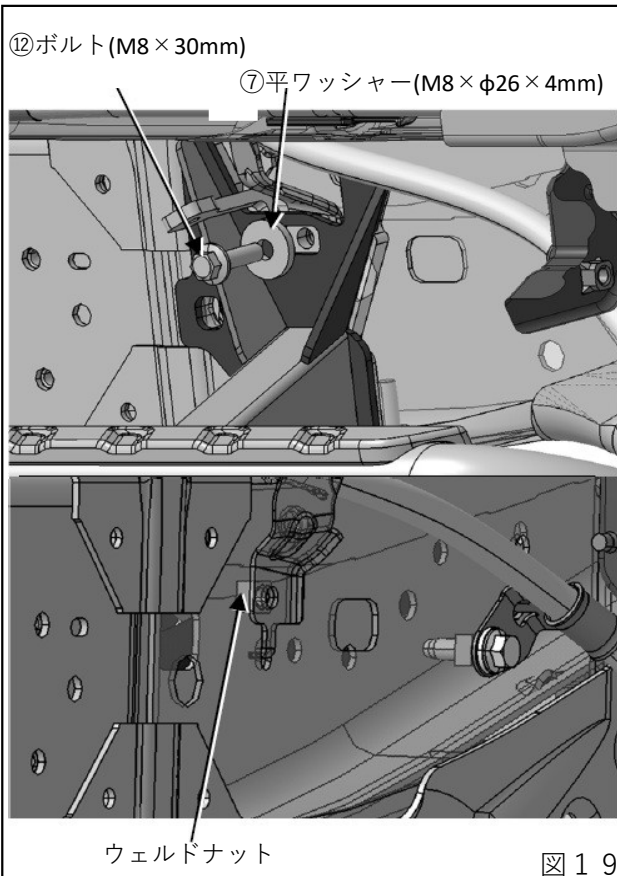


図 18

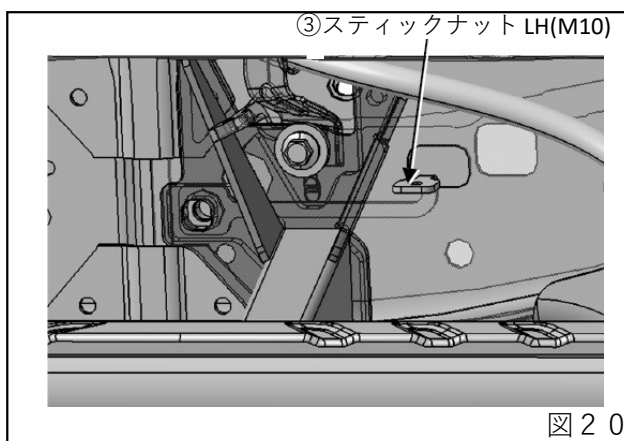
5. 図18で示すように、ロックレール(LH)のサポートブラケットとパーキングブレーキラインブラケットの間に⑨PKBスペーサーを取り付ける。

注意

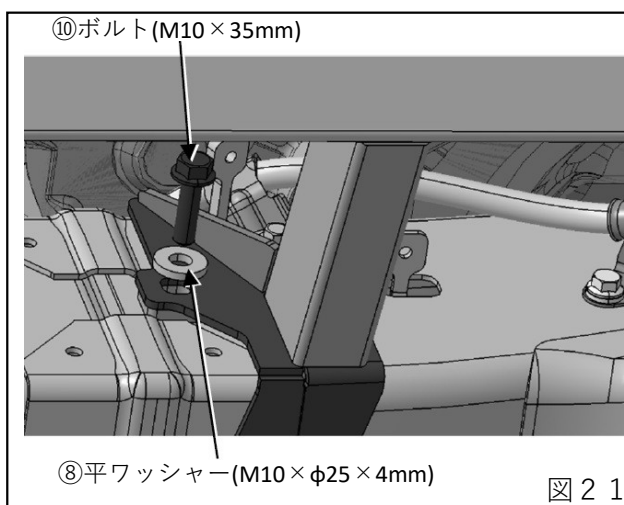
・PKBスペーサーが車両部品と干渉していない事を確認してください。



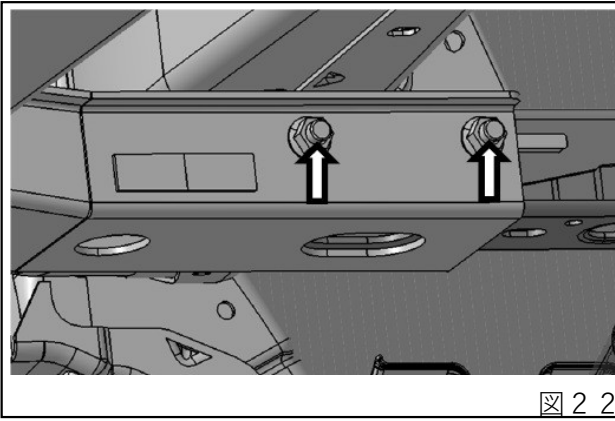
6. 図19の箇所⑫ボルト(M8×30mm)と⑦平ワッシャー(M8×φ26×4mm)を挿入する。
7. 12mmソケットレンチを用いて、⑫ボルト(M8×30mm)を仮締めする。



8. ③スティックナット LH(M10)を図20のように、シャシーの長孔に挿入する。

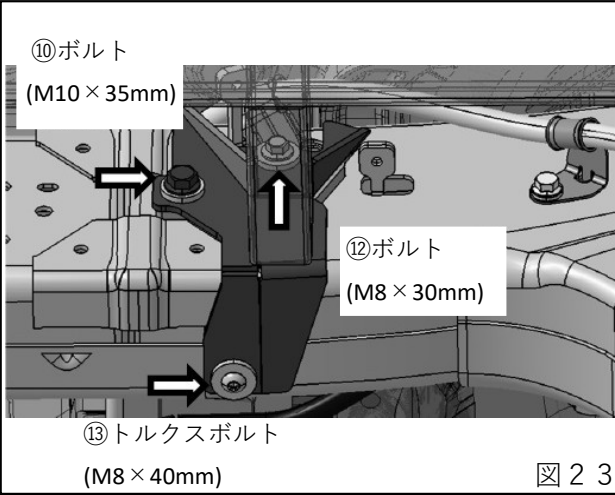


9. 図21に示すようにロックレールの長方形孔とスティックナットLH(M10)のナット位置を合わせて、⑩ボルト(M10×35mm)と⑧平ワッシャー(M10×φ25×4mm)を挿入する。
10. 14mmソケットレンチを用いて、⑩ボルト(M10×35mm)を仮締めする。



11. ロックレール(RH)取り付け手順19.を左側で繰り返します。

締め付けトルク 72.0 N・m



12. ロックレール(RH)取り付け手順20.を左側で繰り返します。

⑩ボルト(M10×35mm)	締め付けトルク 40.0 N・m
⑫ボルト(M8×30mm)	締め付けトルク 38.0 N・m
⑬トルクスボルト(M8×40mm)	締め付けトルク 38.0 N・m

取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) ロックレールが車両に確実に固定されているか点検してください。
- (2) ロックレール及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。
- (3) 販売店はお客様にロックレールを取り付けた後にロックレールが岩や障害物に接触した場合は、使用後に販売店にて点検を受けるように伝えてください。